



世界のトップ・アーティストたちの注目の公演

MUSE CONCERTS PICK UP

ミュージズメンバーズ倶楽部会員“超”特価 1,000 円で夏の暑さを吹き飛ばす！

アクロス弦楽合奏団 夕涼みコンサート

コンマスは所沢在住の世界的ヴァイオリン奏者景山誠治。国内トップ・アーティストが集結した夢のアンサンブルが所沢ミュージズに初登場！

景山誠治率いる国内有数の弦楽アンサンブル

アクロス弦楽合奏団は、84年ロン=ティボー国際コンクールで最高位入賞を果たした世界的ヴァイオリン奏者景山誠治の呼び掛けにより、アクロス福岡を拠点とする弦楽合奏団として2004年に結成されました。公演チラシ裏面のメンバーリストをご覧いただければおわかりのように、都内及び九州のオーケストラのコンサートマスター、首席・ソロ奏者をはじめとする超一流の奏者を揃えた国内有数の弦楽アンサンブルです。

福岡を活動拠点とするこの夢のアンサンブルを今年関東で聴くことができるのは、8月21日(火)の所沢ミュージズ公演だけ。一般販売1,500円のチケットをミュージズメンバーズ倶楽部会員の皆様には“超”特価1,000円でご購入いただけます。涼やかな弦楽アンサンブルの響きでこの夏の暑さを吹き飛ばしてください。



景山誠治

“前代未聞?” ヴィオラが大活躍 - ブランデンブルク協奏曲第6番

今回のプログラムはヘンデル、バッハ、ヴィヴァルディのバロック音楽を中心に、20世紀を代表する作曲家マーラー、バルトークを加えた大変多彩な内容となっています。注目は歴大なバッハの作品の中でも特に有名な「ブランデンブルク協奏曲」。さまざまな楽器の組み合わせによる全6曲からなるこの協奏曲の中で今回取り上げる「第6番」は、日頃弦楽器ファミリーの中で活躍の場が少ないと言われるヴィオラが主役を務めるともユニークなレパートリー。東京フィルの首席ヴィオラ奏者である須田祥子が“前代未聞”、“衝撃作品”、“もはや世界遺産”などと表現するこの曲のヴィオラの活躍に大注目です。

弦楽器とハーブが織りなす天国的な美しさを堪能

今回注目のもう一つの楽器がハーブ。今回のプログラムでも、ハーブ協奏曲でその華やかな音色をご堪能いただけます。そしてなんとと言ってもマーラーの交響曲第5番4楽章「アダージェット」での弦楽器とハーブが織りなす響きの天国的な美しさ……。今回、この重要な役割のために東京交響楽団首席ハーブ奏者の景山梨乃が登場。ミュンヘン国際コンクール第3位など、いくつもの世界的なコンクール入賞の実績のある国内屈指のハーピストが、ハーブの魅力をご存分に披露いたします。



景山梨乃